

【記入例】 太枠で囲んだところのみ記入する

採用者給料査定書

平成9年1月1日以降の臨時的任用時の職員番号

職員番号
氏名
319367
和歌山 太郎

戸籍上の氏名を正確に記入する。 ※押印は不要

令和8年4月1日現在の満年齢

正規の修学年数を記入する

高等学校から記入、大学は専攻学科まで

留年、浪人の期間も職歴欄(1行目)に入れる

アルバイトか正式かを記入する
学生時のアルバイトは記入しない
同時にアルバイトを複数していた場合はどちらか一方を記入する

臨時任用の場合は講師と記入する

非常勤講師で同じ期間に2校以上勤務した場合

非常勤講師の場合は、1週間あたりの授業時間数を記入する。

月1日の初任研補充も記入する

生年月日	昭和・平成	56年	8月	13日生	42歳		
修 学 歴	学校名(学部・専攻学科)	卒業・修了年月		修学年数	学校名(学部・専攻学科)	卒業・修了年月	修学年数
	〇〇高等学校 普通科	H12年 3月 卒・修		3年		年 月 卒・修	年
	〇〇大学 〇〇学部〇〇学科	H17年 3月 卒・修		4年		年 月 卒・修	年
職 歴	勤務場所(職務内容)		期 間		勤続年数		
	浪人		H12年 4月 ~ H13年 3月		1年 月		
	〇〇〇株式会社(正式)		H17年 4月 ~ H21年 3月		4年 月		
	〇〇小学校(講師)		H21年 4月 ~ H21年 7月		年 4月		
	在家庭		H21年 8月 ~ H21年 8月		年 1月		
	〇〇小学校(講師)		H21年 9月 ~ H22年 3月		年 7月		
	〇〇高等学校(非常勤講師 週2h)		H22年 4月 ~ H24年 3月		2年 月		
	〇〇高等学校(非常勤講師 週6h)				年 月		
	〇〇高等学校(非常勤講師 週8h)		H24年 4月 ~ H25年 3月		1年 月		
	〇〇高等学校(初任研補充 月1日)				年 月		
	〇〇中学校(講師)		H25年 4月 ~ H26年 3月		1年 月		
	在家庭		H26年 4月 ~ H27年 9月		1年 6月		
〇〇中学校(講師)		H27年 10月 ~ R 8年 3月		10年 6月			
合 計				22年 月			

1 職歴は、卒業から令和8年3月31日(令和8年4月以降作成の場合はその時点)まで、途切れることなく記入する。ただし、浪人は職歴として記入する。

2 月の途中まで在家庭で、その後、採用された場合、その月は採用の方に入れる。

3 月の途中で退職し、その後、在家庭の場合、その月は勤務の方に入れる。

4 月の途中で退職し、その月中に再び採用された場合、原則、その月は採用された方に入れる。

5 職歴を1枚に記入しきれない場合は、2枚目以降を用意し、続きを記入する。その際、全ての用紙に記入の上、右上をステープラー止めする。